

## 第 4 回石西礁湖自然再生協議会（平成 18 年度） 議事概要

日 時：平成 19 年 3 月 1 日（木） 13:00～16:00

場 所：石垣市民会館中ホール

参加者：委 員：54 名

（内訳）個人 14、団体・法人 13、地方公共団体 13、国 5

傍聴者：6 名

報道関係：4 社

議 事：

（1）石西礁湖自然再生全体構想（案）について

概 要：

（1）石西礁湖自然再生協議会（案）について

運営事務局より、石西礁湖自然再生全体構想について第 3 回協議会から修正された点（資料 2）について説明が行われた。

運営事務局より、石西礁湖自然再生全体構想について、以下の事項について説明が行われた（資料 3）。

第 1 章 石西礁湖自然再生の取組みに至る背景と経緯

1970 年代のサンゴ分布状況を追加で記載、統計データの更新等を行ったことが説明された。

第 2 章 石西礁湖自然再生の対象となる区域

前回の協議会で了承されたことが説明された。

第 3 章 石西礁湖自然再生の目標

長期目標を 30 年後、短期目標を 10 年後とする、目標の期間を追記したことが説明された。

また、1972 年当時の暮らしそのままに戻すわけではなく、当時の自然との付き合い方を目指し、今の時代にあった目標を達成していく旨を追記したことが説明された。

第 4 章 石西礁湖自然再生の基本的考え方

（1）石西礁湖における「自然再生」とは、（2）石西礁湖における自然再生の原則については変更がないことが説明された。

「第 4 章（3）展開すべき取組み」と「第 5 章 石西礁湖自然再生協議会委員とその役割分担」について、5 つのグループでグループディスカッションを実施することが説明された。

グループディスカッションの方法について運営事務局より説明が行われた。議論すべき事項は「石西礁湖自然再生に向けた取組みの流れ（案）」と「役割分担」であり、取組みの流れについては、「石西礁湖の現在の課題」、「その課題の主な原因」、「原因に応じた取組み」に再整理した。役割分担については、各自が行えるものについて再度見直して欲しいとの説明が行われた。

大盛武竹富町長より、竹富町では、島民の安全・安心を確保する上で生活保全航路整備を国にお願いしており、利用の石西礁湖の利用に関する部会を設置して欲しいとの要望があった。

グループディスカッションの結果は、各グループごとに発表を行った。各グループで挙げた主な意見は以下のとおりであった。

<1班>

- ・ 陸域での取り組みが農用地、都市域、その他陸域沿岸等となっているが、考え方・立場で分類の仕方が違うので再整理したほうが良い。
- ・ 人間による破壊と観光客の利用について、受け入れられる環境容量を調査すべきではないか。
- ・ 農業排水の流入、農薬の流入とあるが、農薬は農業排水に含まれるので、生活排水と産業排水に分けたらどうか。

<2班>

- ・ 生態系の回復力の減退に対する取り組みは海域だけでなく、陸域でも行うべきではないか。
- ・ 農薬の流入は農業だけでなくリゾートやゴルフ場も使っている。
- ・ 観光業者もしっかりした意識を持って、人材の育成をしていくべきではないか。
- ・ 過度の漁獲については、買う側の意識向上も必要ではないか。

<3班>

- ・ 漂着ゴミや廃油ボールなど海から流れ着くゴミだけではなく、不法投棄による陸域からのゴミも原因に入れたほうが良いのではないか。
- ・ 構造物の改善により、防波堤にサンゴが付きやすくなるなど回復力の強化ができるのではないか。
- ・ 過度の漁獲については、監視、取締りを強化すべきではないか。
- ・ 赤土流出については、山の中で伐採が行われたりするので、監視、取締りを強化すべきではないか。

<4班>

- ・ 主な原因については、5つのカテゴリ（陸域、海域、直接利用、地球温暖化、意識の向上）にわけて記載すると分かりやすいのではないか。
- ・ 都市域の生活排水のみでなく農村、漁村も生活排水対策が必要。
- ・ 赤土は陸域での対策しか書いていないが、堆積した土砂を取り除く海での対策も考えられるのではないか。
- ・ 過度の漁獲については、地産地消を勧めるなども効果的ではないか
- ・ 入域規制など、観光基本計画の見直しに協議会でアプローチできないか。

<5班>

- ・ 危機感の低下と言うのが非常に起こっているのではないか。
- ・ 学校教育等で危機感を提示することにより、生活排水や農業排水の流入などの原因が少しづつでも取り除けるのではないか。
- ・ 企業についても、危機的状況を広報することにより、企業での取り組みを行いやすくなるのではないか。
- ・ 主な原因の全ての根底に危機感の低下があるのではないか。

運営事務局より、作業グループで今回の意見を全体構想に反映させ、5月連休明けに第5回協議会を開催したいと説明がされた。

運営事務局より、メーリングリスト開設について説明が行われ、参加者を募った。

部会の設置について、竹富町より求められたが、次の協議会で体制等を示し了承いただきたい。

以上